

氏名	寺山 和幸 (テラヤマ カズユキ)
所属	名寄市立大学保健福祉学部教養教育部
職名	保健福祉学部長・教授
研究室連絡先	電話 01654-2-4199 (ダイヤルイン 3104) FAX 01654-3-3354 (事務局) E-mail kazter@nayoro.ac.jp
ホームページ URL	

学歴	北海道大学薬学部薬学科卒業 北海道大学大学院薬学研究科博士課程修了
職歴	1976年4月～1980年5月 旭川医科大学医学部 (衛生学講座) 助手 1980年6月～1994年3月 旭川医科大学医学部 (衛生学講座) 講師 1994年4月～1996年3月 市立名寄短期大学看護学科助教授 1996年4月～2006年3月 同上 教授 2001年4月～2003年3月 同上 学科長 2004年4月～2006年3月 同上 学科長 2006年4月～2009年3月 名寄市立大学保健福祉学部看護学科教授 2009年4月～現在まで 名寄市立大学保健福祉学部教養教育部教授
学位	薬学博士 (北海道大学大学院)、医学博士 (旭川医科大学大学院)
免許・資格	薬剤師
研究分野	毒物学、微生物学、健康科学・公衆衛生学
現在の研究課題	ヘルスアクティブな看護師育成のための看護学生のライフスタイル研究、大学生・短大生の QOL 評価に関する研究、道北地域の人々の QOL を向上させるためのヘルスプロモーション戦略
主な担当科目	情報処理Ⅲ、公衆衛生学、微生物学

研究・教育業績	<p>(1) 生体膜機能に関する物理化学的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Threshold phenomena in chemoreception and taxis in slime mold <i>Physarum polycephalum</i> (共著)、J. Gen. Physiol. 65 巻、1975 ・ Effects of sugars on salt reception in true slime mold <i>Physarum polycephalum</i> : Physicochemical interpretation of interaction between salt and sugar receptions (共著)、J.Memb.Biol.34 巻、1977 年 ・ Variation in selectivity of univalent cations in slime mold <i>Physarum polycephalum</i> caused by reception of polyvalent cations (共著)、J.Memb.Biol.37 巻、1977 年 <p>(2) 室内空気の細菌汚染に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bacterial Aerosol に関する研究 第 3 報～10 報 (すべて共著)、日本衛生学雑誌 32 巻、35 巻、36 巻、37 巻、38 巻、39 巻、1977～1984 年 <p>(3) 環境汚染物質の毒性に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Effect of lead on electrophoretic mobility of rat erythrocytes (共著)、Toxicology 40 巻、1986 年 ・ Effects of lead on sialic acid content and survival of rat erythrocytes (共著)、Toxicology 53 巻、1988 年 ・ Effects of lead on electrophoretic mobility, membrane sialic acid, deformability and survival of rat erythrocytes (単著)、Ind. Health、31 巻、1993 年 <p>(4) 大学生および地域住民のライフスタイルと QOL に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスアクティブな看護師育成のための看護学生のライフスタイル研究(1)～(6) (すべて共著)、市立名寄短期大学道北地域研究所年報「地域と住民」14 号、15 号、18 号、19 号、22 号、25 号、1996～2007 年 ・ 医学生と看護学生に対するお酒と健康に関する質問紙調査とアルコールパッチテスト
---------	---

	<p>(共著)、北海道公衆衛生学雑誌 16 巻、2003 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道内国立病院・療養所看護師の喫煙状況と関連要因 (共著)、北海道公衆衛生学雑誌 18 巻、2005 年 ・短大看護学生による喫煙学生に対する禁煙サポート (共著)、北海道公衆衛生学雑誌 18 巻、2005 年 ・女子看護学生の生活習慣および喫煙に対する考えと喫煙行動との関連 (共著)、北海道公衆衛生学雑誌 22 巻、2009 年 ・名寄市民の QOL 実態調査 (共著)、名寄市立大学道北地域研究所課題研究報告書、2009 年
--	---

学会活動	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日本衛生学会 (1976 年 4 月～現在) (2) 日本公衆衛生学会 (1977 年～現在) (3) 北海道医学会 (1980 年～現在) (4) 日本産業衛生学会 (1981 年～現在) ・評議員 (1990 年～1998 年) (5) 北方産業衛生協会 (現「日本産業衛生学会北海道地方会」) (1981 年～現在) ・幹事 (1984 年～1999 年)・理事 (2000 年～現在) ・雑誌「北方産業衛生」編集委員 (1984 年～、2000 年～副編集委員長) (6) 北海道公衆衛生学会 (1987 年～現在) ・評議員 (1988 年～2000 年) ・理事 (2000 年～現在) (7) 北海道衛生公衆衛生セミナー (1993 年～現在) (8) 日本健康教育学会 (1995 年～現在) (9) 北日本看護学会 (2003 年～現在)
------	---

社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・名寄市公害調査研究班調査研究員 (1995 年～、1996 年から代表、現在まで) ・名寄市総合計画策定委員会特別委員 (1996 年) ・名寄市立総合病院治験審査委員 (1998 年～現在) ・国立療養所名寄病院治験審査員 (1988 年～2002 年) ・北海道地球温暖化防止活動推進員 (2001 年～2003 年) ・名寄市保健医療福祉推進協議会委員 (2001 年～2003 年) ・名寄市立総合病院臨床研修管理委員 (2004 年～現在) ・名寄市保健医療福祉推進協議会委員 (2005 年～2007 年) ・名寄市保健医療福祉推進協議会委員 (2010 年～2012 年)
------	--

受賞	
----	--

コメント	<p>主要論文を 4 つの研究テーマに分けて記載しました。(1) 生体膜機能に関する物理化学的研究は、主に北海道大学大学院薬学研究科博士課程のときの研究成果を記載しています。(2) 室内空気の細菌汚染に関する研究、(3) 環境汚染物質の毒性に関する研究は、前任地の旭川医科大学医学部在籍時の研究成果を記載しています。特に、(3) の単著は医学博士の学位論文であり、他の 2 編は副論文です。(4) 大学生および地域住民のライフスタイルおよび QOL に関する研究は、市立名寄短期大学に赴任してからのものであり、名寄市立大学保健福祉学部となったこれからも継続していく研究課題です。</p>
------	---